

超学際を支援する地理・空間情報

近藤昭彦(環境リモートセンシング研究センター)

- 環境ってなんだろう？
私たちを取り巻き、相互作用する外界
- 環境の特徴は？
場所や時間によって変わるもの
- **だけで解決するものではない！

地域ごとに固有の人と自然の関係性

リモートセンシングで超学際

リモートセンシングとステークホルダーの接続

ローカルRS

• 低高度、近接RS



リージョナルRS

• ランドサット



グローバルRS

• NOAA、MODIS



マルチスケールリモートセンシング

SHと協働
役に立つRS **個別性**

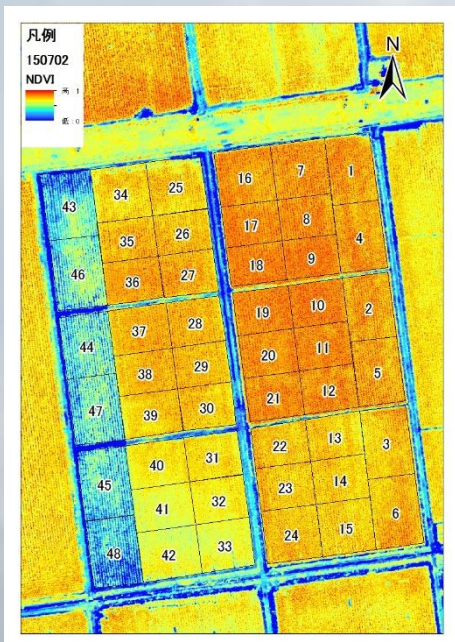
ステークホルダーの階層性

事実と真実

知的資産
の形成 **普遍性**

●ステークホルダーとともに行うリモートセンシング

オンデマンド・リモートセンシングによる農業支援
生産者と協働で実施、水稲から畑へ展開中



印旛沼流域水循環健全化を取り巻く超学際



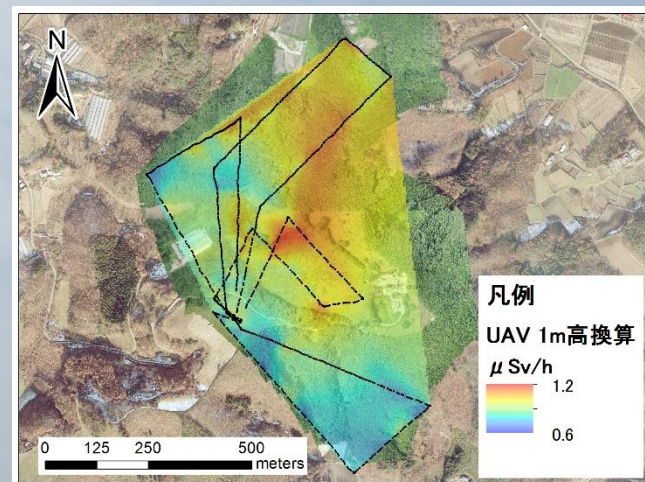
民産官学協働の特定
外来生物駆除作戦

原子力災害における
“科学者”とSHの協
働のあり方

SHとの関わりの中
から環境に対する
深い認識が
生まれる
→超学際

ポスター
をご覧ください

放射能汚染地域の
山林における放射
能モニタリング



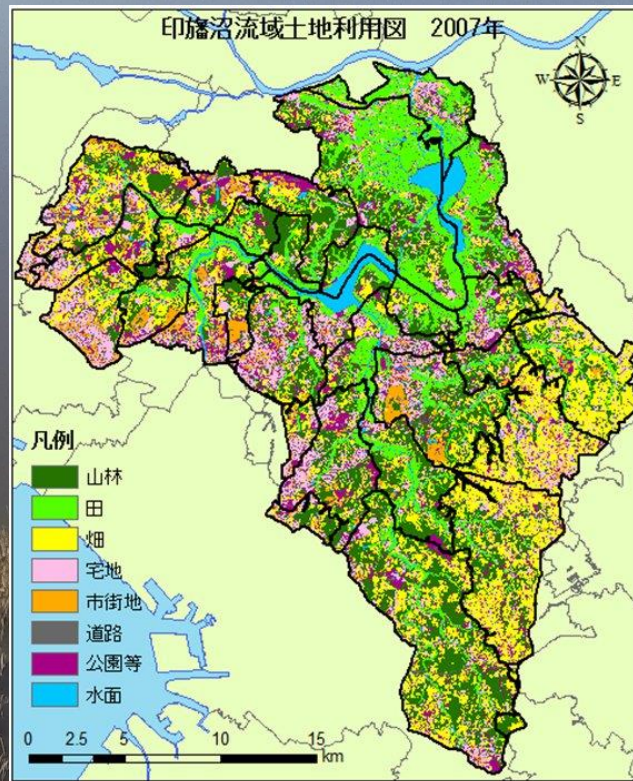
TDにおけるリモートセンシング、地理情報の役割 — 地図の上で重ね合わせて考える —

地図による関係性の認識：印旛沼流域における試み

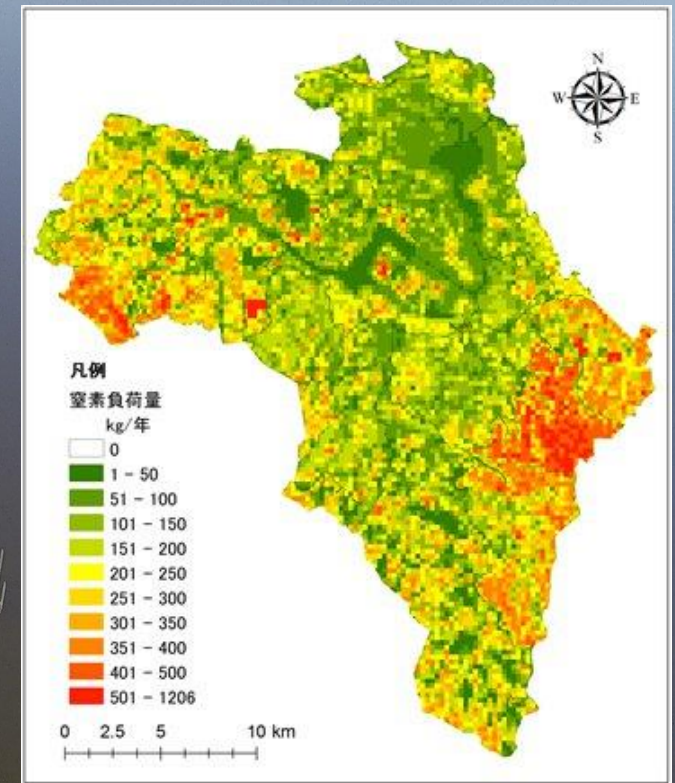
リモートセンシング



2次情報：土地利用



3次情報：窒素負荷量



印旛沼流域水循環健全化をめぐる超学際

●窒素循環～市民と共同する研究～

印旛沼の富栄養化問題を流域圏全体で考える

印旛沼流域水循環健全化会議(千葉県、流域市町、土地改良区・・・)

印旛沼流域圏交流会・印旛沼流域窒素循環勉強会(市民、大学、・・・)

千葉県(河川環境課、水質保全課、・・・)

信頼の醸成・問題の解決の共有

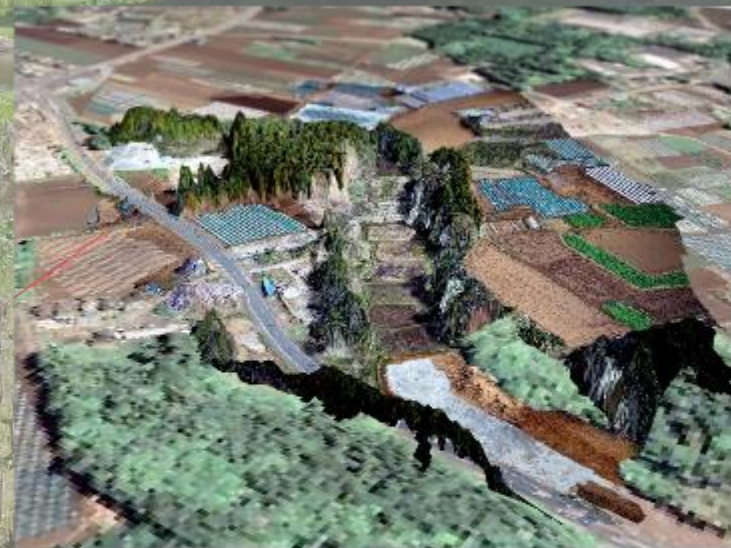
佐倉畦田谷津

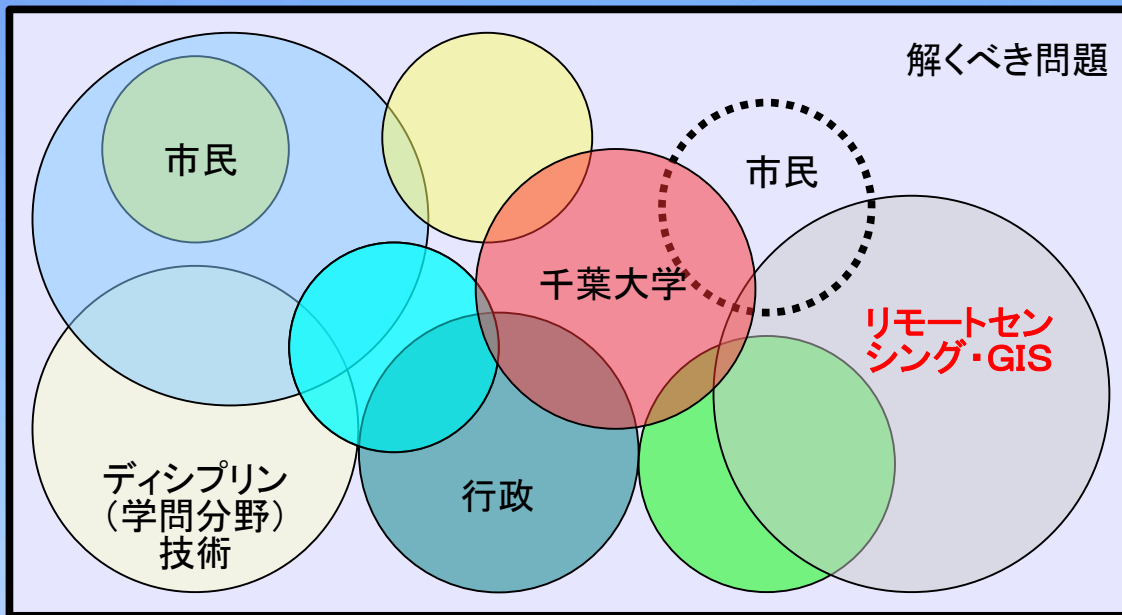


上流と下流の接続



富里天神谷津





鳥越皓之著「環境社会学」 科学の守備範囲の模式図をベースに作成



TRANSFORMATION

目的の達成を共有した協働の
フレームの中で役割を果たすこと